

どうも、ユウスケです。
少しシリアス気味に行こうと思います。
では、スタートです。

放課後の音楽室で、事件は起こった。

漣「律！お前、何やってるんだよ！」

律「ごめん、魔がさしてさ…」

紬「ど、どうしましょう…？」

律「…」

漣「何とか言ったらどうだ！」

律「…秘密にしておくつもりだった。」

律はやっと口を開いた。

紬「そうね、このことがバレたら…」

周りは、静かだった。
そこには、彼女たちの声しかない。

律「…ごめん、みんな！このことは黙っておいてくれ！」

紬「ええ、でも…」

律「わかってる！取り返しのつかないことをしてしまったってことは！
すぐく反省してる！だから…このことは誰にも…」ボクボク

とうとう律は泣きだしてしまった。

漣「…わかった。この3人だけの秘密だ。」

紬「そうね、内緒にしておきましょう。」

律「ありがとう、みんな…」

そう言うと、一人の少女はようやく笑顔を見せた。

雨上がりの晴れた空のような笑顔を…

澁「...律が唯の分のケーキまで食べたことは、黙っておく。」

ガガガ

唯「やっほー、みんな！」

律澁絢「！！！」

こんなオチで申し訳ないです！

このSSの感想をどうぞ

名前:	<input type="text"/>
コメント:	<input type="text"/>

投稿

[すべてのコメントを見る](#)

- アドバイス、どうもです。これから気をつけます。 -- (ユウスケ) 2010-02-01 13:17:23
- 自己主張激しい上に地の文の使い方がおかしすぎる... -- (名無しさん) 2010-02-01 05:48:02
- ご指摘ありがとうございます！修正しておきました。 -- (ユウスケ) 2010-01-31 11:08:45
- 「魔がさした」じゃないですか？でも、律らしくていいと思います -- (pw) 2010-01-31 01:15:21